

社会思想史 II

科目ナンバリング HIT-102
選択 2単位

藤本 龍児

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、社会思想史の観点から、特に「現代社会」に焦点をあて、さまざまな現代の社会思想をみていきます。そうすることで、社会科学の長所と短所を明らかにし、それを補完するものとして社会哲学を位置づけます。

2. 授業の到達目標

- ・社会科学の問題点と課題を理解する。
- ・社会科学と社会哲学の関係を理解する。
- ・社会思想を、現実の諸問題と結びつけ、実践的な見地から理解する。

3. 成績評価の方法および基準

- ・原則として8割以上の出席を前提とする。
- ・適宜おこなう感想文の提出を必須とする。
- ・試験において講義内容とテキストにかんする理解度を問う。
- ・以上に授業態度をくわえ、総合的に判断する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

- ・藤本龍児 『アメリカの公共宗教:多元社会における精神性』 NTT出版
- *他の参考文献は、講義中に紹介する。

5. 準備学修の内容

この講義には、特別な前提知識は必要ありません。

6. その他履修上の注意事項

この講義だけで一つのまとまりをもっていますが、社会思想史 I を履修していることが望ましい。
講義は以下のような内容を計画しています。ただし、受講者の理解や関心に応じて柔軟に改変していきます

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 社会科学の進展(事実と価値の分離)
- 【第3回】 社会科学の課題(総合的観点)
- 【第4回】 社会科学の総合(理論と実践の往還)
- 【第5回】 社会哲学の復権(制度や政策の指針)
- 【第6回】 リベラリズム
- 【第7回】 コミュニタリアニズム
- 【第8回】 マルチカルチャリズム
- 【第9回】 ネオリベラリズム
- 【第10回】 グローバリズム
- 【第11回】 テロリズム
- 【第12回】 ポピュリズム
- 【第13回】 セキュラリズム
- 【第14回】 ポスト・セキュラリズム
- 【第15回】 まとめ